

1-1 新会社設立の挨拶

一般的な文例

拝啓 春暖の候①、ますますご隆昌のことと存じます②。日頃は格段のご芳情を賜り③厚く御礼申し上げます。

さて、弊社におきましては、かねてよりスポーツサプリメント業界への参入を計画④してまいりましたが、お陰様で⑤この程別紙の通り⑥、「株式会社〇〇」を設立することとなりました⑦。

今後も弊社をご支援くださる皆様のご期待に添い、皆様とともに歩むために、より一層の情熱をたぎらせ全社一丸となって精励する⑧所存でございますので、何卒倍旧のご支援、ご鞭撻⑨を賜りますようお願い申し上げます。

まずは略儀ではございますが⑩、書中にて⑪ご挨拶を⑫申し上げます。敬具⑬

(「別紙」 省略)

格上げのポイント

- ① より改まった印象になるよう、「拝啓・敬具」より丁寧な「謹啓・謹言」「肅啓・謹白」などを用います。また、「春暖の候」でも悪くありませんが、「陽春清和ようしゅんせいわの候」などとするほうが、格式が上がります。
- ② 「貴社益々御隆昌の段大賀の至りに存じます」と変え、挨拶部分を充実させます。「ますます」は「益々」と漢字にして、重厚感を醸

し出します。「段」は、～とのこと、という意味の改まった言い方。「大賀」は、大きな喜び。

- ③ トップリーダーとして相手のトップリーダーに挨拶するときには、「平素は…貴重な御指導忝く」などと、日頃のアドバイスに対する感謝の言葉などがあると、より丁寧な印象となります。「忝く」^{かたじけな}は、恐れ多くも～していただく、という意味。
- ④ 「参入を計画」でもかまいませんが、「参入を企図準備」などとし、臨場感をさらに高めて迫力を添えると、より生き生きとしたフレッシュな挨拶になる場合があります。
- ⑤ これまでの支援を深く感謝している気持ちを伝える必要があります。「お陰様で」だけではなく、「佐藤様の御指導御厚庇によりまして、御陰様で」などとし、^{こうひ}「厚庇」は、手厚い支援、という意味で、丹野吉五郎『講話文範 模範商用書簡文』（誠文堂、大正6年）等の模範文例集にみられる表現です。
- ⑥ 「別紙の通り」は「別紙に御示し致しました通り」に変え、より丁寧な印象にします。
- ⑦ 丁寧さが不足している印象なので、ここは、「[株式会社〇〇]の設立が叶いましたので、謹んで御報告申し上げます次第です」に変えます。
- ⑧ 「皆様とともに歩むために」などと、漠然と共存共栄を願うのではなく、「貴社とともに目覚ましい成長を遂げる」とするほうが、より強く信愛の情が伝わります。
- ⑨ 「何卒倍旧のご支援、ご鞭撻」は、いささかありきたりな表現で新鮮味がありません。「何卒旧に倍する御支援、御教導、御鞭撻」などとするのも一案です。「鞭撻」は、ムチ打つこと。励ますこと。
- ⑩ 「まずは略儀ではございますが」より、さらに丁寧な印象を醸し出すために、「先ずは以上略儀甚だ失礼ながら」などとし、

- ⑪ 「書中にて」は「書中をもって」に変え、改まった印象を強めます。「～をもって」は、～によって、という意味。
- ⑫ 「ご挨拶を」を「御挨拶まで」とし、重みをつけます。「まで」は、のみ、という意味。
- ☆ 「一般的な文例」にある、敬意を強めるために用いた「お」「ご」は、格上げの際には「御」に変更しました。「御」を用いるほうが、改まった印象や格式の高さを強調するのに効果的だからです。

格上げ後の文例

謹啓 陽春清和の候、貴社益々御隆昌の段大賀の至りに存じます。平素は格別な御支援御芳情並びに貴重な御指導忝く、衷心より厚く御礼申し上げます。

さて、弊社におきましては、かねてよりスポーツサプリメント業界への参入を企図準備してまいりましたが、佐藤様の御指導御厚庇によりまして、御陰様でこの程別紙に御示し致しました通り、「株式会社〇〇」の設立が叶いましたので、謹んで御報告申し上げます。

今後も貴社並びに佐藤様の御期待に違わず、貴社とともに目覚ましい成長を遂げるべく、より一層日々怠らず、全社一丸となって精励を誓う所存でございますので、何卒日に倍する御支援、御教導、御鞭撻を賜りますようくれぐれも宜しく御願ひ申し上げます。

先ずは以上略儀甚だ失礼ながら、書中をもって御挨拶まで申し上げます。 謹言

(「別紙」 省略)

1-2 返信（お祝い）

模範文例

謹復 只今誠に慶ばしい①御吉報に接し、胸躍り筆走る思いに存じます。新会社の御設立、誠におめでとうございます。心より満腔②の祝意を謹んで捧げる次第でございます。

かねて御宿願③は伺っておりましたし、オリンピックを控えてスポーツ熱の高まりを見せる昨今、好機到来とは存じ上げておりましたが、本年早くも実現されるとは、さすがに機を見て敏なる御才腕のほど、改めて敬服の極みと存じ上げる次第④です。さしてお役に立てることはございませんが、申し上げるまでもなく、これまでも増して最大限のお力添えをさせていただき所存ですので、御希望御遠慮なくお申し越しくくださいませ。

改めて御祝賀に拝趨⑤する心算⑥ではございますが、まずは書面をもちまして、御慶祝⑦の微衷⑧をお伝え申し上げます。

敬白

語句の解説

- ① 「喜ばしい」より「慶ばしい」のほうが、よりおめでたい印象となる。
- ② 「満腔^{まんこう}」は、体中の、の意。
- ③ 「宿願^{しゆくがん}」は、以前からの願い。
- ④ 「次第^{しだい}」は、～というわけ。
- ⑤ 「拝趨^{はいすう}」は、急ぎ伺うこと。
- ⑥ 「心算^{しんさん}」は、心づもり。
- ⑦ 「慶祝^{けいしよく}」は、喜び祝うこと。
- ⑧ 「微衷^{びちゆう}」は、自分の気持ちをへりくだってという言い方。

59-1 事故見舞い

一般的な文例

急啓 今朝ニュースで貴社〇〇営業所の駐車場での事故のことを知り、大変驚いております①。

ご来社中のお客様の乗用車の急発進により、尊台ご乗車のお車が背後から追突され、尊台には全治二週間のお怪我と報じられていますが、その後のお加減は如何でしょうか。依然お痛みになりますか②。

③

やがて程なくご快復の事④とは存じますが、ご加療、ご静養十分に、完治までのご自重ください⑤。

すぐに伺い、いろいろお慰めしたく存じますが、ご治療の妨げになりませんよう、時を見計らい、伺うつもりです⑥。

まずは書面にてお見舞いまで申し上げます⑦。 頓首

格上げのポイント

- ① この部分は淡泊で、格調が不足しているので、「今朝方報道により貴社〇〇営業所にての駐車場事故を拝承致し、驚愕の他ごぞいませんとします。「今朝方」は、今朝ぐらい。こうしたばやかす言い方は、格調高く表現する際、しばしば利用されます。「ニュース」より「報道」のほうが、改まった印象になります。「拝承」は、聞くこと、承知することをへりくだって言う語。「驚愕」は、非常に驚くこと。
- ② この部分の、「ご来社／ご乗車」の「ご」を「御」に変え、「お客様／お車／お怪我／お加減／お痛み」の「お」を「御」に変えて、

格調と改まった印象を高めます。

- ③ この部分に、「謹んで御伺い申し上げます。」を挿入すると、非常に丁寧な印象になります。
- ④ 「ご快復の事」は、「御快復の御事」に変えます。「御事」は、～のこと、をさらに丁寧にいう言い方。
- ⑤ 淡泊な印象なので、「くれぐれも御加療、御静養十分に、完治までは御自重くださりますよう御願ひ申し上げます」とし、丁寧に極めます。下線部が、補足、改変箇所です。「くれぐれも」は、どうか。どうぞ。「自重」は、この場合、自分自身の体を大切にして健康を損なわないようにすること。自愛。
- ⑥ この部分は、格調と敬意が不十分なので、「早速拜趨の上、種々御慰め申し上げたく存じますが、御治療の妨げになりませんよう、時を見計らい、参上致す所存です」とします。「拜趨」は、急いで伺うことを、へりくだってという言い方。「種々」は、いろいろ。「所存」は、考え。
- ⑦ 「お見舞いまで申し上げます」を「御見舞いの微衷を御伝え申し上げます」に変えると、格調が高まります。

格上げ後の文例

急啓 今朝方報道により貴社〇〇営業所にての駐車場事故を拝承致し、驚愕の他ございません。

御来社中の御お客様の乗用車の急発進により、尊台御乗車の御車が背後から追突され、尊台には全治二週間の御怪我と報じられています。その後の御加減は如何でしょうか。依然御痛みになりますか。

謹んで御伺い申し上げます。

やがて程なく御快復の御事とは存じますが、くれぐれも御加療、

御静養十分に、完治までは御自重くださりますようお願い申し上げます。

早速拜趨の上、種々御慰め申し上げたく存じますが、御治療の妨げになりませんよう、時を見計らい、参上致す所存です。

先ずは書面にて御見舞いの微衷を御伝え申し上げます。頓首

59-2 返信（お礼）

模範文例

謹復 此の度は早速の御見舞いの御厚情①、大変嬉しく有り難く、感佩②に堪えず、衷心より③厚謝④申し上げます。

怪我につきましては軽い頸椎捻挫にて、特に大きな痛みはなく、業務に支障もございません。後遺症も今のところは皆無⑤ですので、何卒⑥御休心⑦賜りたく存じ上げます。

ただし、御客様が私の車に追突後、営業所門扉に激突、重傷となられました事は、誠に遺憾⑧に存じます。御命に別条⑨は御座いませんが、一日、一刻も早い御快復を願ってやみません。

大変御騒がせ致し誠に申し訳なく、謹んで御詫び致し、御懇篤⑩なる御見舞いに対しまして、改めて満腔⑪の謝意を本状にて御伝え申し上げる次第です。

なお、御見舞いの為に御光来⑫賜りますことは、謹んで御遠慮申し上げます。有り難い御気遣いのみ頂戴致します。

先ずは寸書⑬にて御礼のみ申し上げます。

敬白

語句の解説

- ① 「こうじょう厚情」は、思いやりの深い相手の気持ち。
- ② 「かんぱい感佩」は、心から感謝して忘れないこと。
- ③ 「ちゆうしん衷心より」は、心の底から。
- ④ 「こうしゃ厚謝」は、厚く礼を言うこと。深謝。
- ⑤ 「皆無」は、全くないこと。
- ⑥ 「なにとぞ何卒」は、どうか。
- ⑦ 「きゆうしん休心」は、安心。
- ⑧ 「い かん遺憾」は、ここでは、残念に思うこと。
- ⑨ 「べつじょう別条」は、異常なさま。
- ⑩ 「ごん たく懇篤」は、心がこもっていて手厚いこと。
- ⑪ 「まんこう満腔」は、体中の、の意。
- ⑫ 「こうらい光来」は、他人の来訪を敬って言う語。
- ⑬ 「すんしよ寸書」は、自分の手紙の謙称。

74-1 訪問を受けたことへの感謝とお詫び (本人不在)

一般的な文例

謹啓 本日はお忙しい中わざわざ当社にお立ち寄りくださり、
ありがとうございます①。

折り悪く、せっかく来ていただきましたのに、生憎わたくしも
山本も不在で、何のおもてなしもできず、申し訳ございません
でした②。

しばらくお会いしておらず、積る話もあったので、お会い
できず残念でした③。

今後も当地を通過される際には、是非お立ち寄りくださるよう
お願い申し上げます④。

先ずは感謝とお詫びまで申し上げます⑤。

頓首

格上げのポイント

- ① 書き出し部分の格式と敬意が不十分なので、「本日は御多忙の中
態々弊社に御来訪下さり、御厚情誠に有り難く、感佩の他ございま
せん」と書き換えます。「お忙しい中」を「御多忙の中」に、「わざ
わざ」を「態々」に、「当社」を「弊社」に、「お立ち寄り」を「御
来訪」に変えます。「ありがとうございます」だけでは、重厚感も感
謝の強さもないので、「御厚情誠に有り難く」を補足し、「感佩」と
いう言葉も使います。「厚情」は、思いやりの深い相手の気持ち。「感
佩」は、心から感謝して忘れないこと。
- ② この部分を格上げして、より丁寧に言うには、「しかしながら、折

角の御足労にも拘わらず、生憎わたくし並びに山本も不在にて、何等おもてなしも出来ませず、失礼の段、幾重にも御詫び申し上げます」とします。「折り悪く」は、なんとなく悪いことでもしたかのような印象を与えるので避けます。「せっかく来ていただきましたのに」は「折角の御足労にも拘わらず」に変え、「何のおもてなし」を「何等おもてなし」とし、「失礼の段」を加え、「申し訳ございませんでした」を「幾重にも御詫び申し上げます」に変え、丁寧を極めます。

- ③ ぞんざいな印象の強い表現なので、この部分を、次のように書き換えます。「しばらく拝芝の栄を得ておらず、積る御話も数多くございましたので、久方振りの好機を逸しまして、返す返すも残念至極に存じます」。「お会いしておらず」は「拝芝の栄を得ておらず」に変えます。「拝芝」は、^{はいし}芝^{しび}眉（お顔）を拝するの意。面会することを、その相手を敬って言う謙讓語。「栄」は、榮譽。「積る話」は「積る御話」と、丁寧に言います。「久方振りの好機を逸しまして」という言葉を補うことも、丁寧な印象を強めます。「残念でした」は、「返す返すも残念至極に存じます」に変え、無念を強調することで敬意を強めます。
- ④ この部分も、「今後も当地御通過の節には、是非御立ち寄り賜りますよう、くれぐれも宜しく御願ひ申し上げます」と変え、丁寧さをさらに加えます。下線部が、補足、改変箇所です。
- ⑤ 締めくりも次のように、より丁寧に、格調高くまとめます。「先ずは御来訪への深甚の感謝並びに不在による御無礼の御詫びまで申し上げます」。下線部が、補足、改変箇所です。「深甚」は、非常に深いこと。
- ☆ 「一般的な文例」にある、敬意を強めるために用いた「お」「ご」は、格上げの際には「御」に変更しました。「御」を用いるほうが、改まった印象や格式の高さを強調するのに効果的だからです。

格上げ後の文例

謹啓 本日は御多忙の中態々弊社に御来訪下さり、御厚情誠に有り難く、感佩の他ございません。

しかしながら、折角の御足労にも拘わらず、生憎わたくし並びに山本も不在にて、何等おもてなしも出来ませず、失礼の段、幾重にも御詫び申し上げます。

しばらく拝芝の榮を得ておらず、積る御話も数多くございましたので、久方振りの好機を逸しまして、返す返すも残念至極に存じます。

今後も当地御通過の節には、是非御立ち寄り賜りますよう、くれぐれも宜しく御願ひ申し上げます。

まずは御来訪への深甚の感謝並びに不在による御無礼の御詫びまで申し上げます。 頓首

74-2 返信（お礼）**模 範 文 例**

謹復 此の度は、突然御伺い致し、御氣遣いを煩わす①事となりまして、誠に恐縮至極②に存じます。事前に御連絡すべきとは存じましたが、突然のこと故、却って御予定を乱すことになりはしまいかと、御連絡を控えました。一時なりとも拝顔③の機会あらば嬉しいと存じ上げた次第です。

今回貴地④に伺いましたのは、小社営業所を貴地に開設する計画があり、候補地視察のためでございました。今後しばしば同様の機会がありますので、是非また御伺い申し上げたく存じます。

不躰⑤な御訪ねにも拘わらず、御丁寧な御挨拶を賜り、恐懼⑥感激、心よりの御礼を申し上げます。敬白

語 句 の 解 説

- ① 「御氣遣おきづかいを煩わづらわす」は、お氣遣いをいただくという面倒をおか
ける、という意味。
- ② 「恐縮きょうしゆく至極しごく」は、恐れ入ることの極み、極限。この上なく恐れ入
ること。
- ③ 「拝顔はいがん」は、お目にかかること。
- ④ 「貴地きち」は、相手がいる地域を敬ってという言い方。
- ⑤ 「不躰ふしつけ」は、しつけができていないこと。無作法。
- ⑥ 「恐懼きょうく」は、非常に恐れかしこまること。